

【資料1】

第6次長期総合計画の策定に関する意見への回答（案）について②

「角田市第6次長期総合計画」の策定に関する意見書

- 募集期間：令和3年4月14日（水）～令和3年5月13日（木）
（郵送の場合は令和3年5月13日（木）必着）
- 提出方法：提出先への書面持参（代理可）、郵便、ファクシミリ、電子メール
- 提出先：角田市総務部まちづくり政策課企画調整係（土日祝日は閉庁日です。）
（問合せ先）住所 〒981-1592 角田市角田字大坊4 1
電話 0224-63-2112（電話での意見提出はできません。）
FAX 0224-62-4829
E-mail machidukuri@city.kakuda.lg.jp
- 留意事項：（1）寄せられた意見の内容は、総合計画の策定に向けた審議を行うための参考資料として、次回開催予定の角田市長期総合計画審議会において報告します。
（2）審議会への報告後、意見の概要及びそれに対する市または審議会の考え方を市ホームページ上で公表します。ただし、住所、氏名など、個人が特定され得る情報の公表はいたしません。

（意見及びその理由）

今回の第6次長期総合計画（以下「本計画」という。）が、市のあらゆる計画のなかで、最上位の計画であると同時に市の将来を左右する計画であるとお聞きしております。

さて、計画とは[夢=計画]とは思っておりません。本計画を策定するに当たって、アンケート調査やワークショップの結果内容を見ますと、多分に夢を追い求めている意見が見受けられますので、本当に必要な、又は実現可能な項目に的を絞った方が良いのではないかと思います。

アンケートの結果を踏まえ、全ての意見要望に対して計画を策定し達成すれば、角田の将来はバラ色だと思います。自分の夢は、大きく持つのは構いませんが、ここは、角田市人口2万8千人の将来がかかっているのです。本当に計画（目標）を達成しなければ、角田市は無くなるという気構えで取り組むべきだと思います。

市民が、生活にゆとりと安全・安心が保障されるのであれば、だれも文句は言わないと思います。

行財政を考慮した場合、アンケート、ワークショップで出された、意見等を全てこの10年でクリアするのは絶対無理だと思います。近づけることは出来ると思いますが、全てが中途半端に終結するのでは、何のための計画だか分かりません。そこで、目標（計画）は、これは絶対に必要だと思う項目に的を絞り策定してください。

夢は確かに大事ですが、今の角田市の財政事情を考えた場合、夢を迫りかける余裕は無いはずです。

本当に大事なのは、本計画が策定された場合、市民の方に理解していただき、計画を達成することです。どうか、本計画が策定されたならば、行民一体となって取り組むことが必要不可欠ですので、機会がある毎に市民あて情報発信してください。来年度から始まる様ですので、早めに本計画書を策定し周知徹底することを望みます。また、進捗状況を毎年度精査して、市民に周知することを是非お願いします。

本計画策定に当たって、ワークショップや審議会での意見は本当に素晴らしいものなので、その意見を実効性のあるものに絞って、本計画を策定していただきたく、私の意見として述べさせていただきました。生意気な事を言って大変申し訳ございませんでした。

最後にちょっと気になったことがありますので申し上げます。『角田の5つの“め”』の事をよく知らない方が、アンケート結果5割を下回っているのが気になりました。交流人口100万人を掲げて角田をアピールしているのであれば、何かが足りないのだと思いますので、考えてみてください。宿題です。

(意見に対する市または審議会の考え方等)

貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

長期総合計画は、市の個別の行政分野における計画の基本となるとともに、将来における市のまちづくりの指針となるものとして、総合的かつ計画的な市政運営を図るため、市の最上位の計画として策定するものです。

第6次長期総合計画の策定におきましては、市民の皆様からの参画を得て、十分に意見を反映した上で策定すべきものとして、「市民アンケート調査」や「かくだワークショップ」を実施させていただいております。

「市民アンケート調査」は、市民のまちづくりに関する意識・ニーズ等を広く把握し、第6次長期総合計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的としており、「かくだワークショップ」は、今後の角田市の在るべき姿について、自由に話し合える場を設け、イメージを共有し、角田市の将来像を見出すことで、長期総合計画審議会における議論に役立てることを目的に開催したのになります。

「市民アンケート調査」の自由記述欄や「かくだワークショップ」における「企画提案書」では、市の将来を考えた際に必要なもの、欲しいもの等について記載させていただいており、地域資源の活用による地域活性化のためのアイデアなどを多数ご提案いただきました。

これらの提案いただいた意見を全て実現することは、現在の財政状況や今後の人口減少傾向等を考慮すれば、困難な状況にありますので、ご指摘いただいたとおり、第6次長期総合計画の策定にあたっては、「市民アンケート調査」や「かくだワークショップ」等でいただいたご意見を踏まえ、今後、角田市が目指すべき将来像・都市像を見出し、優先すべき課題を整理した上で、重点的に取り組むべき施策に注力する計画にしていきたいと考えております。

また、計画策定後の「行民一体となって取り組むことが必要不可欠」とのご意見についても、第6次長期総合計画策定後の推進体制や進行管理の在り方について、市民の皆様の声が反映できる取組みを積極的に推進し、市民の皆様にもわかりやすい計画づくりを心掛けて参ります。

『角田の5つの“め”』については、「角田ブランド」の発信のためのキャッチコピーとして活用して参りましたが、アンケート結果による認知度の低下を反省しつつ、第6次長期総合計画における地域資源を活用した各種施策の中で、今後の取組みについて検討していきます。